

国語科学習指導案

単元名「要旨を把握して、それに対する考えを発表し合おう」

教材名「世代間倫理としての環境倫理学」

令和5年9月 第2学年 指導者 齋藤 美和

I 単元（題材）の構想

1 単元観（題材観）

環境問題は現在だけの問題ではない。将来にも大きな影響を与える問題である。2015年には持続可能な開発目標（SDGs）が採択され、人々は未来を創るために現在と未来の関わりを考えるようになってきている。しかしながら、現在も地球温暖化・森林破壊・海洋汚染・オゾン層の破壊など、人類の存亡に関わる緊急の環境問題は数多く存在しているのが実態である。これに対して筆者は、環境倫理学の視点から論を展開し、環境問題の解決・改善に向けて「世代間倫理」の考えを導入し、現在世代は未来世代に対して生存権を保証する義務を負っていると主張する。

本教材の読解を通じて、次代を担う高校生が環境に対する深い認識をもち、将来に対する責任を自覚してほしい。そして、ものの見方・考え方に新しい視点を付け加えることが望まれる。現在を生きる私たちが未来世代のためにどれだけ自己犠牲を払えるか、倫理的な存在になり得るかということが問われる。現在世代の未来世代に対するエゴイズムの実相やまだ存在しない未来世代の生存権の保証という考え方を理解し、近現代人に欠落している「世代間倫理としての環境倫理学」について考えさせたい。

2 研究との関わり

平成30年に告示された高等学校学習指導要領において、学ぶことに興味・関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組みながら、自己の学習活動を振り返って効果的に学習目標を達成していこうとする「主体的な学び」を実現する必要があることが述べられている。

研究協力校の生徒は、授業内での活動が板書を書き写すだけになってしまう生徒も多く、主体的に学習する姿勢が身に付いていないことに課題が見られる。また、授業の内容が1時間で完結してしまい、学習内容が次時の学習につながっていかないことや次の単元に生かされていないことがある。そうした背景には、内容理解に重点を置くあまり、文章の読解方法を考えて整理する時間を取ったり、学習方略を自発的に促すための手立てを示していなかったりするため、学習内容を蓄積・活用することが難しいと考える。

そこで、学習の中での自らの気づきを蓄積し、自己の学習活動を振り返って、蓄積した気づきを整理・調整する手立てを取り入れていく。具体的には、毎時間のワークシートの下部にメモ欄を設け、メモ欄には評論文の読解方法における自らの気づきを記述し、蓄積できるようにする。単元の最後の時間に、メモした気づきを整理することで情報を構造化する力を育てていきたい。整理したことを基に、自己の学習活動を振り返ったり次時以降の学習に活用したりすることで、自らの学びを蓄積・調整し、見通しをもって学習活動に臨むことができる生徒の育成を目指していく。また、メモを取るとは情報を自ら収集することでもあるため、主体的な学びに向かう姿勢の育成にもつながっていくと考える。

メモ欄の活用を通して、自らの気づきを可視化し、自覚化することにつなげたい。そして、メモ欄に書きためた自らの気づきを振り返り、整理し、活用することで、評論文読解の深化につなげる。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。（(1)ウ）	・文章の組立て方や接続語の働きについては既習し知識としては得ているが、理解を深めるところまでは至っていない。
思考力、判断力、表現力等	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握することができる。（B(1)ア）	・要旨を捉えることができる生徒もいるが、構成や論理の展開を踏まえた上で答えることは苦手である。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文	・比較的国語に対して苦手意識をもっている生徒は少なく、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

	化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	が、読書量が少ないため語彙が乏しい。
--	-------------------------------------	--------------------

4 評価規準

知識・技能	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。(1ウ)
思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア)
主体的に学習に取り組む態度	・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、意見交換等をしながら自らの学習を調整しようとしている。

5 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全6時間：本時第6時)

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT 活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法(観点)> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<p>■環境問題における現在世代と未来世代の関係性を把握し、環境倫理学とは何かを理解させる。</p> <p>□倫理とは何かを確認した上で、環境倫理学の特徴を読み取り、筆者の問題提起は何かを考える。</p>	○			<p>◆本文の組立てや接続の仕方について理解し、筆者の問題提起は何かを考えることができる。</p> <p><観察・ワークシート(知)></p>
<p>[単元の学習課題] 要旨を把握して、それに対する考えを発表し合おう</p>						
追究する	2	<p>■近代的な決定システムと封建的な決定システムの違いを理解させる。</p> <p>□近代的な決定システムと封建的な決定システムの違いを読み取り、ワークシートの表にまとめる。</p>		○		<p>◆本文の内容を基に、近代的な決定システムと封建的な決定システムの違いを読み取り、ワークシートの表にまとめることができる。</p> <p><観察・ワークシート(思)></p>
	3	<p>■現代の進歩主義における考え方について理解し、現在世代から未来世代へのエゴイズムについて理解させる。</p> <p>□進歩主義による現在世代から未来世代へのエゴイズムについて読み取り、ワークシートにまとめる。</p>		○		<p>◆本文の内容を基に、進歩主義による現在世代から未来世代へのエゴイズムについて読み取り、ワークシートにまとめることができる。</p> <p><観察・ワークシート(思)></p>
	4	<p>■現代の進歩主義による未来世代への影響について理解させる。</p> <p>□成長イデオロギーによる未来世代へのエゴイズムについて読み取り、ワークシートにまとめる。</p>		○		<p>◆本文の内容を基に、成長イデオロギーによる未来世代へのエゴイズムについて読み取り、ワークシートにまとめることができる。</p> <p><観察・ワークシート(思)></p>

まとめ	5	<p>■筆者の主張・提言を読み取り、環境問題解決に向けての行動を考えさせる。</p> <p>□筆者の主張・提言を読み取り、ワークシートにまとめる。</p> <p>□「未来世代のために身の回りで環境問題に取り組んでいる例」について調べ、自らの考えをワークシートに記述する。</p> <p>□記述した考えをグループで共有する。</p>		●	<p>◆筆者の主張・提言を読み取り、それを踏まえて環境問題の解決に向けてどのような行動をしていくかについて自らの考えを書くことができている。</p> <p><観察・ワークシート（思）></p>
	6 本時	<p>■ワークシートのメモ欄に書きためたことを基に、本教材での読解方法における気付きを整理することを通して、次の単元の学習へ見通しをもたせる。</p> <p>□ワークシートのメモ欄に書きためたことをグループで共有し、Google Jamboardに入力してクラスで共有する（★）。</p> <p>□Google Jamboard に挙げた意見を基に、評論文の読解において気を付けることや気を付けるための方法を考え、Google スプレッドシートに個人でまとめる（★）。</p> <p>□Google スプレッドシートにまとめた内容を他者と意見交換する（★）。</p>	●	●	<p>◆評論文における読解方法を理解することができている。</p> <p><観察・Google スプレッドシート（知）></p> <p>◆メモ欄に書きためたことを基に、要旨を把握するための読解方法における気付きをGoogle スプレッドシートにまとめようとしている。</p> <p><観察・Google スプレッドシート（態）></p>
<p>[本時のめあて]</p> <p>ワークシートのメモ欄に書きためたことを基に、本教材の要旨を把握するための読解方法における気付きを整理することを通して、次の題材の学習へ見通しをもつ。</p>					

II 第6時の学習

- 1 ねらい ワークシートのメモ欄に書きためたことを基に、本教材の要旨を把握するための読解方法における気付きを整理することを通して、次の単元の学習へ見通しをもつ。

2 展 開

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕 ★ICT 活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習内容を振り返り、本時のめあてをつかむ。（導入3分）</p> <p>S：筆者の主張は、現在世代は未来世代の将来に対して責任をもつ必要があるということだったから、私はプラスチックの削減のためにエコバッグを使うようにしようと考えたよ。</p> <p>S：現在世代は未来世代の生存権を保証するために犠牲を払わないといけないということも述べられていたから、未来のことを考えて行動していきたいな。</p> <p>S：現在世代は未来世代に対して犠牲を払わないと、未来世代の権利を奪うだけになってしまうから、自分たちも未来世代のために我慢することもしていかなないとだね。</p> <p><めあて> ワークシートのメモ欄に書きためたことを基に、本教材の要旨を把握するための読解方法における気付きを整理することを通して、次の単元の学習へ見通しをもつ。</p>	<p>○前時の学習内容が思い出せるように、前時のワークシートを用いながら、筆者の主張に関連する発問をする。</p> <p>○隣同士で振り返りがしやすいように、話しやすい雰囲気づくりや座席の配置を工夫する。</p>
<p>2 毎時間のワークシートのメモ欄に書きためたことをグループで共有し、Google Jamboardに入力する（★）。（展開①17分）</p> <p>S：構造は、筆者の主張が最後に書かれているから「帰納的作文」の構造だ。『納得の構造』の教材で作文構造については勉強したよね。</p> <p>S：授業の中で、筆者の問題提起は何か考えたよね。はっきりと本文中に書いていなくても考えることが大切だと思ったけど、どうかな。</p> <p>S：これまでの評論文でも出てきた語句が、今回の教材にも出てきたな。評論文において重要な語句はあるのかも。</p> <p>S：片仮名の言葉が多く出てきていたね。日本語の語句に限定せず、評論文によく出てくる言葉は読解する上で覚えた方がいいよね。</p> <p>S：接続語はどの評論文でも大切だな。今回も逆接や例示の接続語が出ていたよね。</p> <p>S：題名からキーワードや内容を予想することも大切だと思うけど、入力してもいいかな。</p> <p>S：内容の読解にあたって、現在世代と未来世代の対比や近代的な決定システムと封建的なシステムの対比をしたな。評論文では対比構造に注意することが必要なのかも。</p> <p>S：授業の中で、各段落の中心文に印を付けたな。キーワードや各段落の中心文を捉えることができれば、要旨を把握できると思う。</p> <p>S：Aさんの意見は読解する上で必要なことだね。自分では気付かなかったけど、大事なポイントだから入力しようよ。</p>	<p>◎ワークシートのメモ欄に書きためた読解方法における気付きを振り返り、整理する。</p> <p>◎ワークシートにまとめたことを他者と共有することで、よりよい学び方を身に付ける。</p> <p>○全体で共有した際にまとめやすいように、入力の仕方や注意点を事前に説明する。</p>
<p>3 Google Jamboardに入力した内容をクラス全体</p>	

<p>で共有する(★)。(展開②10分)</p> <p>S: なるほど。3班が挙げている意見は確かに授業中に確認したな。見落としていた。</p> <p>S: 他の班と自分の班の意見が同じということは、やはり評論文を読解する上で大切なのだな。</p> <p>S: 同じ意見だったけど、2班のまとめ方はどうして注意するのかということまで入力してあって分かりやすいな。</p> <p>S: 以前に学習した評論文の振り返りの時と同じ意見が挙がっているな。読解する上で大事なポイントの共通点が見付かったぞ。</p>	
<p>4 次時以降の学習に生かせるように、評論文の読解において大事なポイントを個人で Google スプレッドシートにまとめ、今後読解する上で気を付けるための方法を具体的に考える(★)。(展開③15分)</p> <p>S: だんだん評論文を読むポイントが分かってきたぞ。</p> <p>S: 題名からキーワードや内容を予測することは大切だな。最初に必ず確認するようにしよう。</p> <p>S: 接続語が大切なことは分かっていたけど、次からは印を付けるようにしよう。読み返したときに分かりやすいようにそれぞれの接続語によって印の形を変えてみようかな。</p> <p>S: 各段落の中心文を捉えることで要旨や筆者の主張が捉えられるから、各段落の中心文には波線を引いておくようにしよう。</p> <p>S: 指示語が出てきたら、指示語が指している部分には傍線を引いておくようにしようかな。</p> <p>S: 評論文を読むためには、様々な知識が必要だな。日頃から新聞を読んだり、ニュースを見たりして、時事問題に触れておかないと内容を理解することが難しいな。</p>	<p>◎学習内容の関連付けを行い、次の単元へ見通しをもって学習できるようにする。</p> <p>○読解する上で大切なことだけではなく、具体的に気を付けるための方法を考えさせるため、入力に苦戦している生徒には実行できそうな方法(印を付ける、線を引くなど)を提案する。</p> <p>○本題材における気付きに加えて、これまでの題材の学習で得た評論文の読解方法のポイントと結び付けて考えられるように、各題材のまとめの際に使用したワークシートと併せて振り返らせる。</p> <div data-bbox="836 1010 1417 1218" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>Google スプレッドシートに「評論文の読解で気を付けること」を入力することができている。<Google スプレッドシート(知)></p> </div>
<p>5 Google スプレッドシートにまとめた内容を他者と意見交換する。意見交換が終わったら、自分のスプレッドシートを再度修正する(★)。(終末5分)</p> <p>S: Aさんは接続語に印を付けることにしたのか。自分も同じ方法を思い付いたけれど、接続語ごとに印を変える発想はなかったな。まねしよう。</p> <p>S: Bさんのまとめ方は簡潔で分かりやすいな。自分が見返したときに簡潔な方がいいかも。入力し直そう。</p> <p>S: Cさんは前回の単元のことも踏まえて入力しているな。前回までの単元で振り返った内容も見返してみよう。</p> <p>S: Dさんのように、ニュースを見るようにするなど、実際に本文を読む時以外の注意方法を記入してもよさそうだな。</p>	<p>◎まとめたことを他者と共有することで、よりよい学び方を体得する。</p> <p>○同じグループの生徒だけではなく、他の班の生徒とも意見交換を行うことで、より活発な意見交流の場となるようにする。</p> <div data-bbox="836 1603 1417 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>Google スプレッドシートに評論文を読む際の「具体的な注意方法」をまとめようとしている。<観察・Google スプレッドシート(態)></p> </div>

今日の授業の流れ

★クロームブックを用意しよう！

- ①メモ欄に書きためた「読解方法における気付き」を
グループで共有し、Google Jamboardに入力する。(15分)
- ②全体でGoogle Jamboardに入力した内容を共有する。(10分)
- ③個人でGoogle スプレッドシートに
「評論文を読解する上で気を付けること」をまとめ、
「読解するときに具体的に気を付ける方法」を考えて
入力する。(15分)
- ④Google スプレッドシートの入力内容を見せ合う。(5分)

Google Jamboard (例)

「世代間倫理としての環境倫理学」 読解方法における気付き

【構造】

対比構造に
注意する。

起承転結の
構造になっ
ている。

筆者の主張
が最後に書
かれてい
る。

具体例と主
張を区別し
ながら読
む。

文章の構造は
「帰納的作文」
の構造になっ
ている。

段落や文章の最
後に筆者の主張
が書かれている
ことが多い。

最後に筆者
の主張が書
いてある。

「世代間倫理としての環境倫理学」 読解方法における気付き

【接続語】

接続語に注意する。

接続語の中でも、「しかし」や「だから」の後に筆者の主張が書かれていることが多い。

逆接の接続語の後の文に注意する。

接続語の後に筆者の主張がくるかもしれない。

逆接や「つまり」の後は大事なことが書かれている。

接続語の後に重要なことが書かれている。

「つまり」の後は、まとめになっている。

言い換えの接続語に着目する。

文の前後関係を把握する。

「世代間倫理としての環境倫理学」 読解方法における気付き

【指示語】

指示語は問題になりやすい。

指示語の内容を捉えながら読む。

指示語が指す内容は、最初はその指示語のすぐそばを探す。

指示語が指す内容は、直前かその付近をまずは探す。

「世代間倫理としての環境倫理学」 読解方法における気付き

【語句】

評論文に出てきやすい語句がある。

辞書どおりの意味と本文における意味が異なるときがある。

カタカナの語句が多く出てくる。

「」がついている言葉は注意する。

「」のついている言葉の意味に注意する。

辞書どおりの意味ではないときがある。

本来の意味とは異なる意味で使われている語句を重要視するとよい。

言い換えの語句や表現に注意する。

繰り返し出てくる言葉は、キーワードの可能性があるのである。

たくさん語彙を知っておく必要がある。

「世代間倫理としての環境倫理学」 読解方法における気付き

【その他】

各段落の中心文を捉え
ると要旨が
つかめる。

題名から
キーワード
や内容を予
測する。

題名から
キーワード
を考える。

筆者の問題
提起は何か
を読み取
る。

背景知識を
おさえる必
要がある。

テーマや主
張を捉えな
がら読む。

予備知
識が必
要。

★評論文 読解マスターに向けて★		2年 組 番 氏名 ()
評論文の読解で気を付けること		具体的な注意方法
例	「しかし」、「だが」などの逆接の後は注意する。	逆接の接続表現は、△で囲む。
1	繰り返し出てくる言葉は、キーワードになることがあるので注意する。	キーワードになりそうな言葉は、○で囲んでチェックする。
2	「つまり」、「要するに」などの言い換えの接続表現に注意する。	言い換えの接続表現は、○で囲む。
3	題名からキーワードや内容を予測する。	最初に題名を必ず確認する。
4	指示語が指す内容を捉えながら読む。	指示語が指す箇所は線を引く。
5	「」がついている語句の意味に注意する。	「」がついている語句は、辞書どおりの意味で捉えない。
6	各段落の中心文を捉えることで要旨や筆者の主張を捉える。	各段落の中心文には波線を引く。
7	背景知識をおさえる。	日頃から新聞を読み、ニュースに関心をもつ。
8	繰り返し出てくる言葉は、キーワードになることがあるので注意する。	キーワードになりそうな言葉は、○で囲んでチェックする。

III 備考

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、商標又は登録商標です。

Google、Google Jamboard、Google スプレッドシート、Google Forms は、Google LLC の商標又は登録商標です。

なお、本文中には™マーク、®マークは明記していません。